

ゼロカーボンで彩る丹（まごころ）の里 心豊かなくらしを子や孫へ

丹波市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】

地球温暖化が進行しています

- 地球の大気には、地表から放射された熱の一部を吸収して大気を暖める、二酸化炭素やメタンなどの**温室効果ガス**が含まれています。
- 産業革命以降の化石燃料の使用や森林伐採により、温室効果ガスの排出量が大幅に増加し、**世界中で平均気温の上昇（地球温暖化）が進行**しています。



地球温暖化の対策や気候変動への備えが必要です

- このまま気温の上昇が続くと、豪雨や干ばつなどの異常気象が増加し、地球の気候が変わる（**気候変動**）おそれがあります。
- 気候変動は、**災害の増加**や**農業、産業、生態系への悪影響**など、私たちの生活に深刻な影響を及ぼします。
- 市民みんなの力を合わせて、温室効果ガス排出量を削減して気候変動を緩和する（**緩和策**）とともに、気候変動に適応した社会をつくる（**適応策**）ことが必要です。



※写真差し替え

平成 30(2018)年 7 月豪雨(氷上地域)

計画の目的

- 本計画は、令和 32(2050)年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「**丹波市ゼロカーボンシティ宣言**」の実現に向け、市民、事業者、行政が連携して、温室効果ガス排出量を削減するとともに、気候変動に適応した地域社会の構築をめざす計画です。

【ゼロカーボンシティ宣言】



計画の目標

- 2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目指して、2030 年度に市全域から排出される二酸化炭素排出量を **2013 年度から 48%削減**します。
- 2030 年度に市内で使用された電気の **30%以上が再生可能エネルギー（太陽光発電）で発電された電気**となるよう、設備導入を推進します。

二酸化炭素排出量削減目標

長期目標
(2050 年度)

二酸化炭素排出量実質ゼロ実現

※実質ゼロ
排出量から森林吸収量等を引いた値がゼロ以下となること

中期目標
(2030 年度)

2013 年度排出量比で 48%減

再生可能エネルギー導入目標

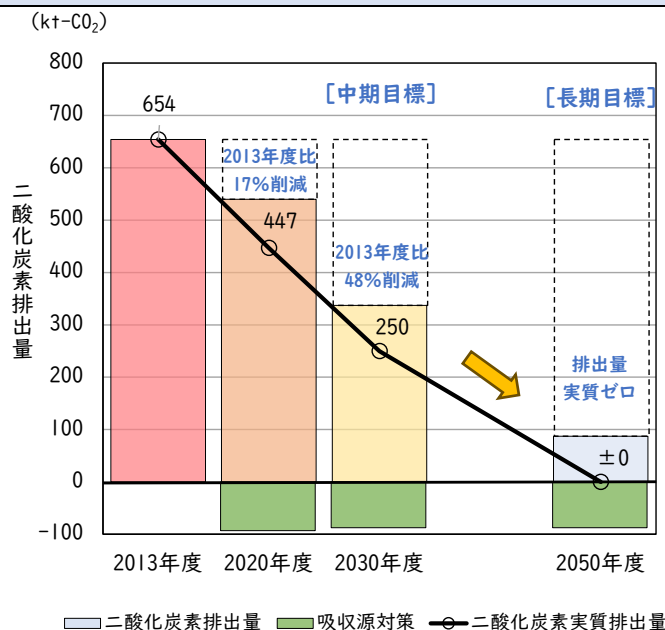
中期目標
(2030 年度)

再エネ比率（太陽光発電）30%以上

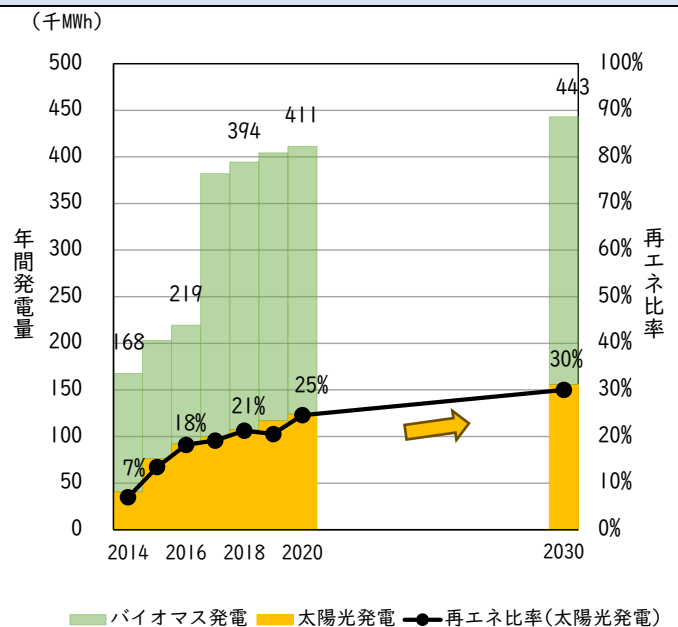
※再エネ比率：
年間の電力使用量に占める再エネ発電量の割合

※再生可能エネルギー：太陽光や風力、水力など、自然から得られる持続可能なエネルギーのこと

二酸化炭素排出削減目標



再生可能エネルギー導入目標



※グラフは後日にデザイン・差し替え

目標達成に向けた取組

●目標達成に向けて以下の取組を推進します。

取組方針	取組内容		
生活様式を変える	・脱炭素型ライフスタイルへの転換 ・農作物の地産地消の推進 ・市における率先行動の実施		
エネルギーを賢く使う	・住宅、建築物等の省エネルギー化の推進 ・省エネルギー設備・家電の導入・普及推進 ・次世代自動車の普及推進 ・地域公共交通の環境整備 ・電力の地産地消の検討	各取組に関連した、	 
エネルギーを創る	・再生可能エネルギー・蓄電設備の導入推進 ・バイオマスの有効活用の推進 ・再生可能エネルギー熱の活用	ちーたんのイラストを配置	
資源を巡らす	・5 Rの推進 ・プラスチックごみの削減		
吸収源を増やす	・森林整備と木材利用の推進 ・環境創造型農業の推進		
気候変動に備える	・気候変動の影響に関する情報収集・情報発信 ・気候変動に適応した地域づくりの推進		



目標達成に向けた各主体の取組指針

●各主体の取組指針を以下のとおりとし、全市民が危機感を持って地球温暖化・気候変動の影響を認識し、目標達成に向けた取組を進めることを目指します。

市民

1. 脱炭素地域づくりを目指したライフスタイルの転換

一人一人の行動により二酸化炭素排出量が大きく左右されることを認識し、自主的かつ積極的に脱炭素地域づくりに向けたライフスタイルの転換に取り組みます。

2. 地球温暖化防止活動への参画
地球温暖化問題への理解を深めるとともに、脱炭素地域づくりや循環型社会への移行に向けた取組に参画します。

事業者

1. 事業内容等に応じた、効果的・効率的な対策の実施

事業内容や製品・サービスに応じて、地球温暖化対策を自主的かつ積極的に実施します。

2. 各種団体との連携による二酸化炭素排出量の削減

従業員への環境教育を推進し、各種団体と連携した二酸化炭素排出量削減や吸収源対策に取り組みます。

3. 製品・サービスの提供における環境負荷の低減

環境負荷が小さい製品・サービスの提供を推進します。二酸化炭素排出削減に関連する情報提供に取り組みます。

行政

1. 地域の自然的社会的条件を踏まえた施策の推進

地域の自然的社会的条件を踏まえて、二酸化炭素排出量削減や吸収源対策に取り組み、脱炭素地域づくりや循環型社会の形成を推進します。

2. 情報提供等による脱炭素地域づくりに係る活動の促進

市民・事業者への情報提供等により活動の促進を図ります。

3. 自らの事務及び事業に関する取組の推進

「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、二酸化炭素排出削減を率先して実行します。

丹波市ゼロカーボンアクション

●丹波市は、目標達成に向けた、身近な取組として、「丹波市ゼロカーボンアクション」を取りまとめています。日々の生活のふとしたところから、ゼロカーボンに取り組んでいきましょう！

ロスなく食べよう - 食材を購入する際、食べられる分だけを買う - 地元の食材の購入を検討する 	節水を心がけよう - 洗濯や食器はまとめて洗う - 買い換えの際は、節水型の洗濯機やシャワーヘッドを検討する 	くらしの工夫で節電をしよう - 使わない時は照明等の電源を切る - 服装を工夫し、エアコンの設定温度の上げ過ぎや下げ過ぎを控える 	ごみの分別、5Rを心がけよう - マイバッグ、マイボトル等を使用する - ごみ分別パンフレットやごみ分別アプリを活用する 
サステナブルなファッションを - 長く着られる服を選ぶ - 環境ラベル等がある服を選ぶ 	脱炭素型の製品に注目しよう - 環境ラベルが付いた商品などを選ぶ - 簡易な包装のものを選ぶ 	再生可能なエネルギーを - 蓄電池、蓄エネ給湯器等の導入を検討する - 薪ストーブ等、生活の中に木を取り入れることを検討する 	移動はエコに健康に - エコドライブの実施に努める - 近場への移動を徒歩や自転車で行う 

※挿絵差し替え



丹波市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】概要版

編集：丹波市 生活環境部 環境課

〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地

電話：0795-82-1001（代）

【計画書（本編）】

